

・・・ 編集後記 ・・・

私は令和5年4月より、前任者の育児休業により急遽編集委員となりました。編集業務は初めての経験で不安もありましたが、多くの学びと貴重な経験を得る機会となりました。編集委員の業務は、論文の投稿から査読、編集、最終的な掲載決定に至るまで多岐にわたり、これまでは査読者として論文を評価する立場でしたが、編集委員として関わることで、論文の選定や審査過程全体を俯瞰する視点を得ることができました。この経験を通じ、論文掲載プロセスの透明性を確保しながら質を向上させるための視点を学ぶことができました。また、論文執筆時に注意すべき点についての理解も深まりました。さらに、投稿者とのやり取り、査読者の選定、論文の改訂指示等、細かな調整が必要であり、査読とは異なる責任の重さを実感しました。論文の質を高めることは、学術の発展のみならず、臨床検査技術の向上にも寄与するものであり、編集委員の役割の重要性を改めて認識しました。

さて、17巻1号は第18回日本臨床検査学教育学会学術大会の特集号です。基調講演、教育シンポジウム、学生優秀発表賞受賞演題と臨床検査の叡智の集結を物語っております。さらに総説1報、報告1報、資料2報と先進的で刺激的な内容が投稿され、皆様にとりましても新たな知見となり得ることと思います。

最後になりますが、本誌の発展のために尽力されている査読者の先生方、編集委員会の皆様、そして投稿者の方々に心より感謝申し上げます。皆様のご協力があったこそ、質の高い論文が掲載され、学術分野の発展に寄与できるものと確信しております。

私は任期を終えますが、機関誌「臨床検査学教育」のさらなる発展と、その社会的役割の充実を心より祈念し、編集後記とさせていただきます。

(令和7年2月6日 編集委員 大津山賢一郎)

一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会
日本臨床検査学教育学会 学術部
編集委員会(令和6年・7年度、五十音順、敬称略)

副理事長(学術部)：市野直浩(藤田医科大学)

委員長：多田達史(香川県立保健医療大学)

副委員長：吉田祥子(東京工科大学)

委員：伊藤洋志(神戸常盤大学)、大津山賢一郎(山口大学)、岡山香里(群馬パース大学)、
木村明佐子(国際医療福祉大学)、宿谷賢一(順天堂大学)、杉本恵子(藤田医科大学)、
副島友莉恵(東京科学大学)、徳原康哲(香川県立保健医療大学)、西尾美和子(東京科学大学)、
野坂大喜(弘前大学)、星 雅人(藤田医科大学)、本木由香里(山口大学)、米谷正太(杏林大学)

臨床検査学教育 第17巻 第1号

令和7年3月1日発行

発行人：一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会
理事長 坂本秀生

〒143-0016 東京都大田区大森北 4-10-7

日本臨床衛生検査技師会内

Tel. 080-7228-0508

e-mail: jimukyoku@nitirinkyo.jp

http://www.nitirinkyo.jp

編集：日本臨床検査学教育学会 学術部 編集委員会
e-mail: edit@jamte.org

制作：(株)宇宙堂八木書店

〒104-0042 東京都中央区入船 3-3-3

Tel. 03-3552-0931 FAX 03-3552-0770

広告取扱社：(株)日本廣業社

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-11

Tel. 03-3238-7501